手をとりて美しき国を

(昭和二十八年寮歌

消すまじ自由の歌をたるというというでという。

わだつみの声をばひめて

恐ろしき雲空に充ち 忘るまじ我らが胸に 倒れたる友の姿を

けがれたる祖国の山河に

たくましき若き鼓動が 去り果てし若き生命に

美しき歌声に和し 平和なる国を築くと

海こえてこだます日までタネ

この町にこだます日まで

もろ人の幸深めつつ 若者の槌音に和し 新しき緑の息吹があたら みどり いぶき

三河勝彦君 作曲 山本玉樹君

作歌